

2018年10月4日

ジェットロ大阪本部、和歌山

和歌山県産柿の北米輸出事業でのジェットロの役割

- ①ジェットロは、国内事務所と関係機関と連携した「ジェットロー県一支援プログラム」(※1)の実施を通じ、農林水産物・食品の初輸出などの先行事例の創出支援を行っている。
- ②日本最大の柿産地である和歌山県では、JA グループ和歌山、和歌山県、農水省、外務省などと連携し、2015年度より「たねなし柿」の北米市場(カナダ、米国)への新規輸出を目指し、同プログラムでの支援を開始。ジェットロは「輸送実証実験」、「プロ向けセミナー」などを実施。新たな物流モデルの構築、現地マーケティングに向け支援してきた。
- ③2017年10月の米国市場解禁を受け、関係機関一丸となった新規輸出に取り組む中で、ジェットロはロサンゼルスでの「プロ向けセミナー」、現地「日本産食材サポーター店」との連携事業を担当。その他、「天皇誕生日でのPR」等に関し、現地ジェットロ事務所を通じた様々な調整を支援した。
- ④今年度は、新たに検疫緩和されたオーストラリア市場への新規輸出の支援に加え、米国市場においても非日系市場への浸透に向けた支援策を講じる。

(※1) 2018年度は47都道府県・49件の支援案件を実施。

<これまでの事業の流れ>

2015年度

- ①軟化が早い渋柿品種の長期船便輸出を想定し、国内での輸送実証実験を実施。
- ②船便での北米地域への輸送による品質保持が可能であることを確認。

2016年度

- ①JA、県と連携、「プロ向けセミナー」、「試食を通じたマーケティング」、「市場調査」を実施。新たな物流の構築に寄与。(2016年10月25日 @バンクーバー)
- ②米国市場解禁を見越し、JA、県、農水省、在米日本大使館が協力し、「日本食の日イベント」にて、富有柿サンプルを使ったPR事業(展示、試食、アンケート調査)が実施され、ジェットロも側面支援した。(2017年2月7日 @ワシントンDC)

2017年度

- ①天皇誕生日レセプションで柿サンプルをPR。(2017年12月5日 @ロサンゼルス)
- ②JA、県と連携、現地の流通業者を対象に、柿を用いた料理メニュー提案、県産の柿の特徴や優位性につきPRする「プロ向けセミナー」を開催。
(2018年1月12日(金) @ロサンゼルス、レストラン「SHIKI」Beverly Hills)
- ③農水省が認定する、現地「日本産食材サポーター店」(3~5社程度)と連携、1週間程度、県産柿を用いた料理を提供する。(2018年1月中旬 @ロサンゼルス)

10月
米国解禁!!

※ 下線部分をジェットロ事業で支援

【米国】

(1) ベジタリアン・ビーガン嗜好のカフェレストランで柿のPRセミナーを実施

ベジタリアン・ビーガン嗜好のカフェレストランで、新しい食材の探求心が強いシェフやフードライター等を招き、PRセミナーを実施します。

これらレストランに携わる方々は、顧客も含め流行に敏感な層が多く、常に新しいものを探している傾向が強い。また、発信能力も高い。非日系層へのアプローチとしても有効と考えます。

アジア系以外ではまだ認知度の低い「柿」について、「健康食材」としての拡がりの可能性も模索しながら、日本・和歌山産の魅力をPRします。

日時：平成30年10月26日（金） ランチタイム（11時開始予定）

場所：P.Y.T. (<http://www.pytlosangeles.com/>)

400 S. Main St. (next door to Ledlow) Los Angeles

ロサンゼルスダウンタウンにあるベジタリアン・ビーガン嗜好のカフェレストラン

対象者：同嗜好のレストランシェフやフードライター、メディアなど

内容：日本・和歌山産柿の特徴、柿の効能についての説明。セミナー形式。

試食会（フルーツカット、ジュース、サラダ等）。

- ☆ ベジタリアンとは様々なタイプの菜食主義者の総称。ビーガンは卵や乳製品を含む、動物性食品をいっさい口にしない「完全菜食主義者」を指す

【豪州】

(1) 現地（シドニー）プロ向けセミナー

現地のレストランオーナーやシェフ等に対し、柿を用いた料理を提供するとともに、県産柿の魅力をプレゼンテーションします。

日時：平成30年11月21日（水） 14時～16時（予定）

場所：Sofitel Hotel Sydney Wentworth

対象者：レストラン、メディア関係者

内容：日本産・和歌山産柿の特徴、柿の効能についての説明。セミナー形式。

試食会（フルーツカット、ジュース、サラダ等）。